

ハイライト

最初のニュースレターを作る時に
考えたこと

No.252
Dec. 2025

宣教レポート

近況&祈禱課題

インフォメーション



ヨーロッパのクリスマス





民のかまど

アルゼンチン 在 原 繁・津紀子



「高き屋に のぼりて見れば煙立つ 民のかまどは賑わいにけり。」この詩「民のかまど」は、仁徳天皇の和歌。仁徳天皇は民の暮らしを第一に考え、善政を施した天皇として語り継がれています。「仁徳天皇が高台に登ってみると、人家の「かまど」から炊煙が上がっていないことに気づかされる。庶民が貧しいからだ、と。この地域は災害や飢饉に見舞われており、人々は食物も十分に手に入れることができないため、炊煙が上がっていないのを知る。このことから仁徳天皇は3年間、税を免除し民の生活が豊かになるまで自ら食事や着物を俵約し、質素な生活を送られる。善政の結果、民の生活は豊かになり、多くの家々から炊事の煙が上がるようになった…」とある。

奥地ミシオネス州の家々から、かつて上がっていた炊煙は姿を消しています。炊煙とはアルゼンチン料理「焼肉アサード」

の煙です。日本の鉄板焼と異なり、アサードはウンkgの肉の塊を炭火で1時間以上かけて焼き、加熱調理し終わった頃に食事を開始し、それを来客と談笑しながら賑やかに食べるというものです。

奥地宣教地に目を向けます。かつて、踊るように上がっていた各家庭の炊煙を、この地方で目にするのは殆どなくなりました。長引く経済恐慌は失業者を増加させ、国民の多くは貧しさに打ちひしがれているからです。アサードどころではありません。政府補助金の大幅な削減は、一部で飢餓を生み出すようになりました。

私たちはこの宣教地で如何にあるべきか？今は「聖なる祭司」(Iペテロ2章9節)として民を思い、祈り、寄り添いながら宣教師職を全うしたいと思います。(繁)



閉じた貝の開く時

韓国 長澤久美子



暑さの長い夏、その後の長雨で稲刈りの時期には空を見上げては心も曇る日々が続きました。最近は朝晩の冷えに冬を感じていますが、どんな天気の中にも助けてくださる神様を見上げています。アンテオケの皆様、主にあってお元気でしょうか。私はこの一年、病と治療の中でも守られ、力を与えられたことを主と皆様のとりなしの祈りに感謝しています。

今日は一組のろう者夫婦についてお話しします。趙さんの奥様は人づきあいが苦手で、心を開かず友達も作らない方。家や畑の仕事はよくできるものの、教会でも挨拶だけしてすぐ帰り、声をかけてもそっぽを向くことの繰り返し。皆と一緒にいる時は目をつぶって自分の殻に入っている事が多いのです。私たち夫婦は「もう諦めます」と思うこともありましたが、でも、やはり主に託された尊い魂。35年にわたり訪問し、少しずつ声をかけ続

けました。

変化が起きたのは、ご主人が脳溢血で倒れ、手話もできなくなったとき。奥様は足を痛めながらも懸命に介護し、ご主人は治療とリハビリを続け、驚くほど回復しました。主の深いあわれみを見せられ、私たちはハレルヤと喜びました。

さらに、奥様の心にも変化がありました。赤ん坊の時に生みの親が亡くなり、継母に冷たく育てられた厳しい生い立ちの中で愛をもらえず、人を信じられなかった姉妹が、昔辛く当たっていたご主人を「かわいそう」と思うようになり、顔が優しくなってきたのです。まだまだ時間はかかるでしょうが、「急がず休まず」。主の十字架の愛が姉妹の心を癒し、神と人との関係が健やかになりますように。私たち夫婦も主からの愛と力でよく仕える者となれますようお祈りください。

近況 & 祈禱課題

タイ 新納真司・玉皇

- ・11月から始まる無料英会話教室(3回目)に参加者が与えられ、神様を求める方が起こされるように。
- ・12月6日のこどもクリスマス会の祝福のために。
- ・クリスマス礼拝にハンドベルチーム(ノンクリスチャン)を招待します。福音の種が広く蒔かれますように。

インドネシア 浅井俊貴・ひかり

- ・主がこの教育宣教の働きを用いて、教育・福音を必要としている子どもたちに届いていく事ができるように。
- ・今年も多くの新入生が与えられ、現在はおよそ幼稚園児50名、小中高生150名、大学生300名が学んでいる。彼らの学びと霊的成長のために。また学校の成長に伴って、新しい働き人が与えられるように。

要配慮国 みか

- ・海岸沿いを南から北の国境地帯まで行く祈りのキャラバンの成功のため。(事故などからも守られますように)
- ・また関わっている学生、婦人たちに霊的飢え渇きが与えられ、心の目が開かれてイエス様の救いを受けることができますよう、続けて祈りの援護をお願いいたします。



日韓の靈的架け橋となって 18 年

韓国 朴ダニエル・イム ヨンジェン



2006 年に関西聖書学院を卒業した後、支える会が立ち上がり、八尾福音教会で牧師助手を受け、アンテオケ宣教師として 2007 年 11 月に韓国に遣わされました。その後、2008 年 3 月ソウル中心部で日本ビジョン教会を創立しましたが、韓国の皆さんは日本の名前で行くまで行けるか心配してくださいました。いろいろな思いの中で足らない私を導いてくださった神様と、お祈りで支えてくださった皆様に心から感謝申し上げます。今年もあと二カ月しか残ってない今日も、早い時間からここに在る皆様のために切にお祈りしました。18 年間、在韓邦人宣教と日韓の靈的架け橋となるべく、私なりに走ってまいりました。神のみこころによるキリスト・イエスの使徒パウロのコリント人への手紙から、キリストからの恵みと平安が皆様の上にありますようにとの祝福を送ります。

大きな事は出来ない小さな者ですが、涙を持って頑張ることが出来たのも皆様のお祈りのおかげです。宣教の働きの仲間と日本人の魂が救われる奇跡が毎日ありますようにお祈りします。今日は VIP 関西センターでの聖書研究会に参加し、明日からは韓国から牧師 9 人が来まして集会を開く事になりました。

今日は嬉しいことが有りました。13 年前、韓国にいた O さん（日本人）と会いました。韓国では日本ビジョン教会にも来られた方です。もう一つ、教会の M 姉妹が 11 月 9 日に洗礼を受けることになりました。ぜひ、彼女のためにお祈りください。また、11 月 15 日に行われる VIP 日韓大阪交流会のためにもお祈りください。（ダニエル）



ゴスペルの実りの秋

国内 国際教会牧会 宇井英樹・由美



10 月 12 日、井野葉由美先生を音楽ゲスト・メッセンジャーとしてお迎えし、ゴスペル・サンデーをしました。30 名を超える人が集まり、ノンクリスチャンは 10 名以上、教会に来たのは全く初めての方もいました。由美が体操で出会った人たちをお誘いしたところ、2 名が来てくださり、一人の方は今回で 3 回目でした。また、英樹が地域の日本語ボランティア教室で担当した中国人の方も来てくれました。来られた方々の救いのためにお祈りください。

10 月 18 日、日本イエス・キリスト教団船橋栄光教会の伝道コンサートで、サクソ演奏とショートメッセージをさせていただきました。16 日に由美が体調を壊し、一時はどうなることかと思いましたが、栗本先生始め、教会の皆さんの祈りに主は応え、癒してくださり、無事、奉仕することができました。

用意されていた席がほとんどいっぱいになるほど多くの方が来てくださり、半数近くは普段礼拝に来られていない方々でした。主を求める人たちが起こされるよう、お祈りください。

また私たちの第 2 の宣教地で出会った日本人の方が、去年のイースターの時、東京ニューライフの礼拝に来られました。その後、由美とオンラインで聖書の分かち合いの時間を、週一度持つようになりました。これまでご家庭の事情や体調不良などでなかなか礼拝に来られませんでした、7 月より信仰生活基礎講座を学ぶ中で、教会に加わることの大切さがわかり、礼拝にも少しずつ来られるようになりました。また、神様のみ言葉を実行する第一歩として洗礼を受けたい気持ちをはっきりして、11 月 2 日に洗礼を受けることになりました。新しい歩みの祝福のためお祈りください。（英樹）

要配慮国 ちえ

- ・単独のスラムの宣教が始まって、多くの方々にご心配頂きましたが、主はスラムの子どもたちを宣教の働きに招いてくださり、共に主を崇めてまいりました。彼らは過酷な環境を乗り越え、偶像だけに捕らわれる生き方を打ち破る青年となりました。
- ・これからは、彼ら自身が主の救いの恵みと喜びを証しする者とされますようにお祈りください。

ベルギー 川上寧・真咲

- ・10 月より日本語で聖書を読む会を、隔週水曜夜に自宅で始めることができ感謝です。現在、私たちのほか、キリスト者の日本人夫妻と国際結婚の夫妻とそのお子さんが参加しています。主にある良き交わりと学びが深められ、この交わりの輪が更に広がるようお祈りください。

スウェーデン派遣 Y・I

- ・スウェーデン語を速やかに習得できますように。
- ・来年以降の居住許可取得に向けて、最善の道が開かれますように。
- ・霊肉の健康が支えられ、事件や事故から守られますように。

最初のニュースレターを作る時に考えたこと

タンザニアミッション 安川圭吾・美穂宣教師を支える会
事務局 笥拓郎

宣教師のニュースレターは、配布しても必ず読んでもらえるとは限りません。

このアンテオケ宣教会ニュースを読んでおられる皆様はそうではないと思いますが、クリスチャンでも異文化宣教に特別な興味がない方は案外多いのではないのでしょうか。実際、ニュースレターを送らせていただいている教会から「全員の分は不要ですので、次回より～部だけお送りください」とご連絡をいただく事もあります。

私たちは「一人でも多くの方に手に取っていただきたい」、「特に若い世代、普段は宣教師のニュースレターを読まない小学生などにも興味を持ってもらいたい」という思いから、最初のニュースレターを企画しました。その結果生まれたのが、動物の写真を表紙に使ったカラー印刷の「タンザニア通信」第1号です。

目を惹く表紙は、あくまでもきっかけに過ぎません。より重要なのは「読み手に寄り添った読みやすさ」だと考えました。せっかく素晴らしい主の御業が書かれていても、文字の大きさや書体、ページの余白や行間の広さなどの「ページレイアウト」が適切でなければ読みにくく、宣教に興味はないけれど何となくページを開いた方に「読む気」を起こしてもらうのは難しいでしょう。余白を十分に取ると、掲載できる内容は思った以上に減りますが、出来るだけ情報を詰め込みたいというのは、あくまで発信側の都合に過ぎません。

『わたしは今日、あなたの家に泊まることにしているから。』（ルカ 19:5）主はザアカイの客人となられ、ともに食事をされました。相手に歩み寄る事は宣教の第一歩であり、それは情報発信においても同じではないでしょうか。紙媒体に限らず、映像や音声においても、見やすさや聞きやすさを通して相手に歩み寄る姿勢が大切だと思うのです。



2008年発行のニュースレター第1号の表紙

台湾 高井ハラー由紀

- ・8年目となる台南神学院での働きに今年度も新たな気持ちで臨めるように。
- ・子どもたちそれぞれの学校（高校・大学）での学び、また教会生活が守られますように。
- ・夫ダニエルの父、由紀の両親が守られますように。
- ・知り合いのオランダ人Aさんの大学院での学び、信仰に導かれますように。

要配慮国 神戸希望

- ・半年間の帰国では、デピュテーションにお招きくださり、お祈りとお支えを頂き、ありがとうございました。10月中旬に無事に再渡航しました。
- ・約束のボランティアの話がなくなりましたが、別の現地教会が女性支援をしているところと出会いました。長期ビザが与えられ、共に働く教会、チームが与えられるように、御心の道だけが開かれるようにお祈りください。

要配慮国 戸山大地

- ・現地に入り5カ月が過ぎています。言語の習得、文化への適応のためにお祈りください。
- ・長期ビザが与えられるように。主が導いておられる人々の所で住むことができるように。
- ・モンスーンで被害にあった方々の守りと回復のために。

インドネシア R・K

- ・初期の乳がんが見つかり、治療のため帰



日本からヨーロッパに宣教師を！



ドイツ 井野葉由美

ドイツに派遣されて、20年目を迎えています。このように長い期間、皆様にご支援いただき、感謝でいっぱいです。現在、日本に一時帰国して宣教報告に伺っています。現地の日本語教会を長い間留守にできないので、毎回の一時帰国は6週間だけです。短い期間の中で、以前から支援していただいている教会だけでなく、新しい教会も訪問させていただいています。海外の日本語教会には常に新しい方が来られるので、その関係の教会に輪が広がっています。新しい訪問先でヨーロッパのキリスト教界の現状をお伝えすると、皆さん驚かれます。ヨーロッパではキリストを信じる人がどんどん減り、宣教されるべき国になりました。その中で、日本人の果たす役割は大きいです。世界中で日本は評判の良い国で、多くの場合、日本人は好意を持って迎えられます。日本はキリスト教の国とわかっていない

ので、警戒心なく、また興味を持って話を聞いてくれます。日本にいとわらないかもしれませんが、世界的に見て、日本人クリスチャンはとても優秀です。聖書の基準に従い、毎週の礼拝、祈禱会にきっちり集い、日々聖書をよく読んでいるクリスチャンは、実は多くはありません。さらに日本人は、まじめで柔和、和を重んじる気質を持っており、チームで宣教するのに、素晴らしい資質があります。日本からヨーロッパへの宣教師が起こされることを願っています。

日本において、かつてドイツに住んでおられた方々とお会いする機会も多くあり、彼らの信仰を励ますことも一時帰国中の大きなミッションです。帰国クリスチャンが日本の教会に根付き、その地で祝福の基となっていくことを期待しています。



ただ愛されてる天の父に



モンゴル 高橋真一・千恵美

今年の短期宣教アウトリーチには、信仰的にも社会生活的にも疲れ、弱さを覚えている人、経験不足の若い人も集められました。正直言うと出発前、私はかなり心配でしたが、主が許して下さった確信を頂き、一切を委ねて準備しました。参加者も同じ思いでした。「こんな私が主を証し出来るのか?」「何も持っていない私が短期とはいえ本当に主に遣わされているのか?私でいいの?等々」各自が不安を持ちつつ、それゆえよく祈り、たくさんの方に祈って頂いて送り出されたチームでした。

じゃむきんの6日後に出発の日程。同じテーマが流れていました。「子ロバの様に、主の声に応答してありのままの自分で主に仕える。」宣教も献身も自分の力やスキルでする事ではありません。大切なのは「主と共に出てゆく」信仰です。両手のひらを天に向け恵みで進みます。今回のテーマ賛美は「神

の子」(岩瀬愛実さん作)。これをモンゴル語に訳して練習して行きました。「何が出来てもできなくても何を得ても失っても、ただ愛されてる天の父に、私は神の子」の歌詞のまま生活し奉仕する中で、主が働かれ、モンゴルの方々も日本のチームもリバイブされました。悔い改め、賛美と感謝、礼拝と賛美が溢れました。信仰生活が再建される人、ビジョンが与えられる人、新たな人生を歩み始めた人。主は希望を注がれました。

マタイの福音書の大宣教命令の最後には約束があります。そして大宣教命令の根拠は主の権威です。何が出来てもできなくても、主の愛といのちが弱い者、無に等しい私たちと共にいてくださり、ご自身の御業に用いてくださる。弱い時にこそ強い。主の恵みに溢れたアウトリーチでした。(真一)

近況 & 祈禱課題

国中で、12月22日に手術です。良き治療と完全なる癒しをお祈りください。

- ・私が仕えていた子どもたちのお母さん、野口佳奈宣教師が癌闘病の末、10月4日天に召されました。ご家族に天よりの慰めを、また特に子どもたちを覚えてお祈りください。
- ・病気が癒やされ、一日も早く再び主に遣わされる事ができますように、お祈りください。



内側からの攻撃

タンザニア・日本ベース 安川圭吾・美穂



使徒の働きには、外部からの迫害が聖徒たちを奮い立たせたことが書かれています。しかし、内側からの攻撃は時として教会に深刻なダメージをもたらしました。具体的には、偶像崇拜、律法主義、異端、偽教師、分裂分派などが挙げられます。使徒や弟子たちは、時には憤り、時には心を痛めて対処しました。

ハニット兄がインド人教会の牧師に就任してから、多くの主の勝利がありましたが、内側からの攻撃も経験しました。長老夫妻のN兄とK姉は、彼のリーダーシップに不満を持ち、ゴシップを通じて他の信徒に不信感を植え付けようとしていました。

成熟した信徒は分裂の霊を見抜けましたが、新しい信徒や律法的な信徒はゴシップを信じ、ハニット牧師を批判する側に回りました。彼らは協力教会の牧師にも噂を広め、一部の牧師はハニット牧師に対する露骨な嫌悪感を示すこともありました。

悪魔が玄関に入る事を許可すると、必ず家の中に入り込んできます。分裂の霊はN兄にさらに深く入り込みました。

ある日、執事のラザロス兄は、N兄が献金を自分のポケットに滑り込ませる瞬間を目撃しました。これが繰り返され、証拠も入手したため、私たちはハニット牧師、N兄、K姉、その他の長老とZoomミーティングを行いました。御言葉から、彼らの行為が神を悲しませ、自分自身や教会を破壊することであると伝え、N兄は泣きながら悔い改めの祈りを始めました。一方、K姉は戸惑ったような反応を見せ、表面的な祈りしかできませんでした。数日後、ハニット牧師が長老職解任を伝え、彼らは自らの行動が知られることを恥じて教会を去ることになりました。悔しさと寂しい気持ちでいっぱいです。(圭吾)

近況 & 祈禱課題

北フランス 宮坂鉄也・ジャンネメ

- ・10/29～11/1 手作りキャンドルのアトリエが教会で行われました。知り合いの親子さんたちと良い時を過ごす機会、リピーターもいます。イエス様を紹介することへつながっていきますように。
- ・引き続きイエス様を知りたいことを求めて礼拝に集っている、クロエさん、アンリアンヌさんのため、また洗礼希望のユゴー君のためにお祈りください。

インドネシア 今西勇太・茉莉

- ・1月4日～10日にかけてマレーシアで開催されるペナンユースキャンプの祝福のために。勇太は6回のメッセージ担当予定。家族全員で招かれており感謝。このキャンプにインドネシアから3人の大学生が参加予定。彼らの交わりの祝福と霊的成長のために。
- ・大学生のエファン兄、フェガ兄、ギラン兄、アフィア姉、アンディ兄への弟子訓練のために。

- ・2月から開始予定のリーダー育成プログラムのために。新たな開拓伝道者、長老、執事が立てられるように。

インドネシア 高橋央也・恵

- ・9月に1年間のビザが更新されました。お祈りに感謝します。
- ・ガン治療中のM姉に主の御業が現されるように。
- ・ガン治療中であったN姉は11/17に召され、日本でのご葬儀に央也師が参列しました。ご遺族に主の慰めがありますよ



試練の向こうにあるもの インドネシア 渡部 惇



ハレルヤ！いつもお祈りくださりありがとうございます。

私は今年の5月に精巣腫瘍という病気にかかり、宣教地のインドネシアから日本に一時帰国し、手術と抗がん剤治療をしました。この病気は20～30代の男性がかかりやすく、10万人に1人という非常にめずらしい癌です。

去年の1月に宣教が始まり、担当している日本語教会の働きや日本語教師の働きが軌道に乗りはじめ、いよいよという時にこの病気にかかりました。病気にかかった時は、どうして自分にこのような病気が与えられたのか、という思いが自分の中でわき上がり、心がふさぎこんでしまいました。

しかし、病気に対して否定的な思いはありましたが、不思議と宣教の働きに対しては否定的にはならず、病気が治ったら早く宣教地に行きたいという思いがいつもありました。それは私

の人間的な願いや力によるものではなく、主が私の心を守ってくださっていると感じました。その理由は、いつも暗唱している聖書の言葉によるものだったと思います。

「すべての訓練は、そのときは喜ばしいものではなく、かえって苦しく思われるものですが、後になると、これによって鍛えられた人々に、義という平安の実を結ばせます。(ヘブル人への手紙 12:11)」

宣教地に再び入って働きをする時、おそらくまた違った試練や困難な出来事が起こると思います。この病気以上の難しい局面に直面するかもしれません。しかし、そんな時にこの病気の経験を通して得られた「主により頼む」ということを思い出し、主ご自身を待ち望みつつ、再び宣教地に派遣される日に心から備えたいと思います。



留学生伝道～地域教会との共同作業～ イギリス 相馬 裕美



いつもお祈りありがとうございます。

最近のイギリスは、時代の流れとともに移民反対派と移民賛成派に分断され、ロンドンでは大きなデモもありました。今年中に新しい移民政策の法律が採決される予定で、今後、私の労働ビザや市民権取得にも大きな影響がありそうです。そんな政治的な環境の中、オクスフォードの留学生伝道は神様の守りの中でとても祝福されています。今、私が関わっているのは30名の日本人留学生と20名のその他の国から来ている留学生です。先日行ったディナー＆ディスカッションには30名近くの留学生が来てくれました。そして私の集っているマーストン教会の方々が自宅に留学生たちを呼んでくれて「お菓子作り」や「編み物クラブ」をやってくれています。先日の「編み物クラブ」に来てくれた学生のうちふたりが日曜日の礼拝に行きたい

と言ってくれました。留学生たちと一緒に編み物をして時間を過ごしてくれた教会の方の優しさ、温かさが留学生に伝わったのでしょうか。神様が留学生の心を開いてくださる場面を何度も見てきて、神様の素晴らしさを崇めています。

日本に帰ったある留学生と先日オンラインで話をした時に、「聖書が言っていることとマーストン教会の人々の愛のある行動が聖書通りだったから、日本に帰っても神様を信じ続けることができた。日本の教会に行き始めて、イギリスでも日本でも神様は変わらないということがわかった」と言ってくれました。

日本にいる両親が健康で、私も健康で、働く仲間が与えられ、日本で祈ってくださる、経済的に支援してくださる方々が与えられているという今の環境を神様に感謝し、これからも神様の召しに応答し続けていこうと思います。

うに。

- ・8月から始まった児童福祉施設での日本語教育の祝福（15名）。
- ・JJCF キャンプ（10/25-26）に参加された未信者6家族に蒔かれた福音の種が実を結びますように。
- ・高橋夫妻の健康と日本に一人で住む娘のために。



心をついに祈る～ピライ教会（在原宣教師）

インフォメーション

献金芳名リスト・教会および団体（7月～9月）

旭川めぐみ アルゼンチン宣教を支える会（2）
石坂師を支える会（3）井野師を支える会（3）
インドネシア福音（3）宇井師を支える会（3）
上田教会 浦和福音 大磯キリスト（3）岡本
師を支える会 香登 片柳福音自由（4）韓国
ろう者宣教支援会 京都シオンの丘（3）久米
麗を支える会（3） 그리스チャンフェローシッ
プチャーチ 神戸希望を支える会（3）郡山
キリスト（2）御殿場純福音（2）堺福音 札
幌福音館 ジョイチャペル 鈴鹿キリスト福
音（3）相馬師を支える会（3）高島チャペル
（12）高橋央也・恵と共に歩む会（3）高松シ
オン（3）立川駅前 玉村福音 タンザニアミッ
ション（2）千代田福音 東栄福音 東京グレ
イス 東京ニューライフ国際 東京若枝（3）
戸山師を支える会（3）東洋ローア 名古屋一
麦（3）名古屋グレイス 奈良福音（3）奈良
ブッシングチャーチ 日本イエス教団事務所
（3）朴師を支える会（3）東川口福音自由 東
須磨 平塚福音（2）プラトナの会（3）本郷台（3）
丸亀聖書 岬福音 未伝地ミッションを支える
会（3）森福音キリスト モンゴルミッション
ジャパン 八尾福音北九州チャペル 八栗シ
オン 山形聾者キリスト 大和カルバリ・チャ
ペル（3）

献金芳名リスト・個人

浅利ますみ アズマシズカ（2）井野葉由
美 井原敬二 岩井輝子（2）宇井英樹・由美
（3）植田利江 大橋祐星 岡本告・涼子 奥山
実 甲斐博（3）梶井義郎 川上寧・真咲（2）
川崎順子 Kim Minseok（2）熊田和子 島谷
みとり（3）小路伸夫 城山直子 高井由紀・
ダニエル（3）高村昌昭（3）千金町子 坪井
永城 トゥール彩実（2）トミヤスアツシ 西
鳥巨・結衣 萩原義明 林正敏 久田雄治・恵
美子 福山和代 星出卓也・薫（3）三浦岸雄
（3）宮坂玲子 目黒グレース 山下祐弘（3）
山中実 吉永輝次・則子 匿名（15）
（教会・団体・個人 計 198 件）

事務局からのお願い

ご献金のお振込みには、所定の赤色の払込取
扱票か、「ゆうちょダイレクト」をご利用く
ださい。

アンテオケ宣教会の口座情報

●ゆうちょ銀行

00170 - 4 - 10379

●三菱UFJ銀行

池袋東口支店（普通）1068695

オンライン献金

利便性のために、これまでの献金あて先の
他に、オンライン献金を始めました。ご利用
いただける方は、こちらのQRコードか
らご利用ください。



支える会交流会の報告

●去る 11 月 19 日から 21 日の 3 日にわた
り、支える会の交流会を Zoom で行いま
した。今回、合計 18 の支える会と、これ
から支える会を立ち上げようとする 2 つの
グループが参加され、互いの情報交換や活
発な話し合いの場となりました。



交流会（1日目）

なかでも共通の関心事とも言える、支える
会の立ち上げや宣教師派遣中のさまざまな
ケア、また子女教育のこと、さらには働き
を終えて帰国後に必要なことについて、経
験をお持ちのゲストスピーカーのお話は非
常に有意義で、参加者にはとても参考にな
ったものと思います。



交流会（2日目）

今後もこのような交流会を通じて、さらに
関係を深めていきたいと願います。記録動
画をご覧になりたい方は、宣教センター事
務局までご連絡ください。



交流会（3日目）



アンテオケ宣教会

〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1 OCC ビル 203 号

TEL : 03-5577-7035 E-mail : jimukyoku@jantiochm1977.net

ウェブサイト jantiochm1977.net 郵便振替 00170-4-10379



公式サイト
& SNS

